

事務局公募審査（採択）結果の公表

令和8年1月28日
経済産業省経済産業政策局地域経済産業政策課

事業名：令和7年度補正中堅・中小・スタートアップ企業の質上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社野村総合研究所	4010001054032	3,989,403,000

- (提案事業者名)
- ①株式会社野村総合研究所
②TOPPAN株式会社
③株式会社電通

(審査委員属性)

公認会計士・税理士
一般財団法人職員
公益財団法人役員
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
株式会社野村総合研究所	74	97	83	254/300
A社	54	86	56	196/300
B社	72	93	66	231/300

提案事業者名	提案書の記載内容	事業実施内容の適格性	事業実施計画（スケジュール）の妥当性、効率性	組織の本事業に関する専門知識・ノウハウ等	補助金公募及び交付の際の申請方法や周知方法、申請書類の妥当性	要員数や事務所の確保、事業の実施体制スキームの構築及び明確な役割分担の実施	適切な経営基盤、一般的な経理処理能力	事務費の金額の妥当性	本事業の類似事業の受託実績	賃上げの取組をしているか。	ワーク・ライフ・バランスの取組をしているか。	合計
株式会社野村総合研究所	適	24	27	27	48	24	27	17	30	15	15	254
A社	適	20	20	18	34	18	27	20	24	0	15	196
B社	適	24	24	24	44	22	24	9	30	15	15	231

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社野村総合研究所	・事業費の見積が、一番詳細だと感じた。 ・事業実施の各段階における執行業務の内容、そのための実施体制、実施のポイントが整理・分析されており、本事業の運営基盤を有しているものと考えられる。また、支援企業の今後の成長、発展にも注視しており、事業効果についても期待をもてる内容となっている。 ・過去に大規模補助金事業の実績が多数あり、またWEB制作をグループ会社に委託する以外は、自社内で一貫して完結できる体制をもっており、安定した運営が期待できる。EBPMに関する効果分析の実績もあり、具体的な提案がされている。
A社	・実績面で他の2社にやや劣るように感じた。 ・事業全体の設計がやや抽象的であり、運用については詳しく説明されているものの、事業を通じた支援企業の成長および効果については不明な点が多い。 ・補助金事業の実績が多数あり、補助金事業を効率的に運営するノウハウは高いと思われるが、大規模設備投資に関わる事業の実績は提示がなかったため、その観点での専門性については確認できなかった。
B社	・事業費の細かな分析がない。 ・連携構造が複雑であり、不安定な要素がある。連携することにより最適化されているとまでは判断できない。 ・業務プロセスを詳細に設計するとともに、具体的な改善提案がされており、効率的な運営が期待できる。一方で、再委託だけでなく再々委託まで想定し、経費の見積もりでは、内訳の添付がなく、詳細が不明であった。